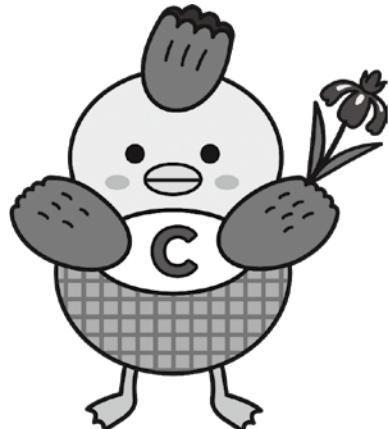


のアルバム



マスコットキャラクター「チュッピー」

中主中学校区のキャラクターが誕生

中主中学校区（中主学区）では、「地域と学校園が協働して地域の子どもを育てよう」という取り組み（地域学校協働活動）を進めています。そのシンボルとして、中主学区のマスコットキャラクターを中主幼稚園・小学校・中学校・地域にお住まいの人から募集し、応募された約650作品の中から学校園評議員や小・中学生の投票の結果、中主中学校1年生の坂田唯奈さんの作品が選ばれました。

チュッピーには、旧中主町の町鳥「ひばり」と町花「あやめ」、「中主メロン」が描かれ、親しみやすいマスコットキャラクターになりました。

今後は、中主学区や学校園のさまざまな取り組みの中で活用される予定です。

やすまる広場 パネル展開催

やすまる広場実行委員会によるパネル展が開催（12月5日～17日）されました。

「やすまる広場」は、市民活動団体などの活動発表や交流を通じて市民活動のきっかけづくりを目的に毎年開催されていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策によりパネル展のみの開催となりました。

コロナ禍でも活動を頑張る市民活動団体にエールを送るため、各団体の熱い思いが詰まった80枚のパネルが展示。

コロナに負けず活動を継続していただき、来年は「やすまる広場」が開催されることを願っています。

▼ 12月8日 野洲図書館本館



▼ 11月14日



▲平和堂アル・プラザ野洲
セントラルコートにて



おいでやすマルシェ開催

野洲市観光物産協会主催の「おいでやすマルシェ」が開催（11月14日・15日）され、多くの人にぎわいました。

今年は新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながらの開催となりましたが、市内の観光名所の紹介や特産品の販売などを行い、野洲の魅力を発信されました。

当日は、中主漁業協同組合による「湖魚の佃煮」の配布や新米の重さ当てクイズなども開催。

また、野洲高等学校ダンス部の演舞や近江むかで太鼓保存会・兵主太鼓保存会等の演奏では会場内は大いに盛り上がり、「久しぶりに演奏を聴けて楽しかった。」などの声が聞かれました。

歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

(196)

歴史民俗博物館 ☎ 587-4410、Fax 587-4413

三上藩を支えた近江の人びと

令和3年は藩を廃止して新たに府県を設置した廢藩置県の実施から150年です。そこで、博物館では江戸時代から明治時代初めにかけて野洲郡三上村に拠点をおいた三上藩を紹介するテーマ展を開催しています。

江戸時代、価値の基準はお米でした。石高（米の生産量）1万石（江戸時代の終わりに1万2000石）の小さな藩であった三上藩の特徴は、支配地域が拠点のある三上村の周辺だけではなく近江国のおうみのくにの各所にあったこと、また藩主の遠藤氏が三上村に住むことはなく、江戸（東京）で暮らしていたことです。

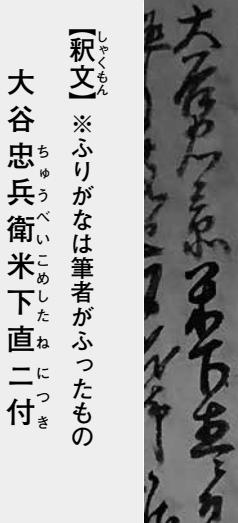
では、そのような状態でどのように藩を運営していたのでしょうか。

江戸時代の享保5（1720）年2月付の「覚帳」（御上神社蔵）によると、同20（1735）年正月8日、米の値下がりについて渡部伊兵衛・竹内傳右衛門・大谷忠兵衛たちが相談のため呼ばれたとあります。渡部については詳しくはわかりませんが、竹内は三上藩が支配した今堅田村（大津市）の人物で、湖西にある三上藩領の村々をとりまとめた大庄屋（村役人）とされています。大谷は御上神社の社家を務めた三上村の人物です。つまり、武士ではない地元の有力者が各地より集い、三上藩の運営に関わっていました。

米の値下がりによって起きた問題は江戸の三上藩屋敷の重役たちが最後は対応していますが、三上村の大谷忠兵衛をはじめ、近江の人びとが三上藩を支える重要な存在であったことがわかります。

江戸時代、三上藩のように石高が少なく、支配地域が各所に散らばっていた藩は少なくありません。三上藩をはじめとした小さな藩の歴史をひも解くことは、江戸時代の歴史・社会を明らかにするうえで重要と言えるでしょう。

（博物館学芸員 齊藤慶一）



享保5（1720）年2月付の「覚帳」の一部

■テーマ展「近江の小藩 三上藩 一廢藩置県150年－」

開催中～1月31日(日)

休館日：月曜日（1月11日は開館）、1月1日(祝)～4日(月)・12日(火)

※市民は入館無料

（運転免許証やげんきカードなどをご提示ください。）

※市ホームページ等で事前に開館状況をご確認の上、ご来館ください。

まち

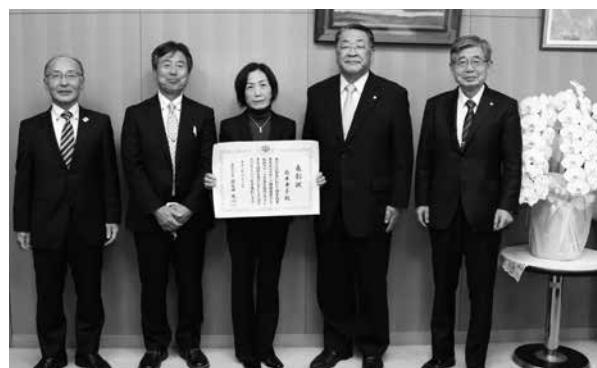
地域のスポーツ推進に貢献

令和2年度スポーツ推進委員功労者表彰（文部科学大臣表彰）を受賞された岩井孝子さん（行畠）が報告のため市役所を訪れました。

岩井さんは、平成6年から野洲市スポーツ推進委員を務めておられ、長年にわたるご活躍と功績が評価されたものです。

今後も市のスポーツ振興のため一層ご活躍されることを願っています。

▼ 11月26日 市役所



100歳おめでとう

100歳の誕生日を迎えた田中政次さん（野田）を栢木市長がお祝いに訪問しました。

大正9年11月13生まれの政次さんは、プロ野球がとても好きで、大の巨人ファン。テレビ中継で欠かさず選手情報をチェックされているそうです。

また、日ごろから「感謝」や「ありがとうございます」という気持ちを大切にされておられ、訪問した市長にも、「お祝いありがとうございます」と感謝されていました。いつまでもお元気で。

▼ 11月13日

